



事業の継続が望まれる
「山田の魅力発信事業」



木下志き子議員

観光振興

「山田の魅力発信事業」の継続

観光振興のため積極的に支援

質問 商工会を中心に町内各種団体の参画で始まった「山田の魅力発信事業」の今年度の事業計画は。

また、来年度以降も事業を継続して実施していく考えはあるか。

沼崎町長 主催者である山田の魅力発信実行委員会では▽オランダ島まつり▽穀付きカキ生産日本一!!山

田カキまつり▽やまだエンターテイメントカーニバル▽山田の魅力売込隊の派遣▽海上渡御見物と山田湾クルーズ▽復活!!年に一度の船越半島巡り観光船運航事業▽楽山楽水の郷―山田海幸・山幸名物料理開発事業―を計画している。

来年度以降の事業の継続実施については、この事業

町の考えを聞く

は、県の地域活性化事業調整費補助金を活用して十六年度から十八年度までの三

年間で実施しているもので今年度が最終年となる。また、県では今年度予算で二億三千万円を減額しており厳しい情勢ではあるが、山田の魅力発信実行委員会が継続を希望するのであれば、町としても観光振興のため積極的に支援していきたいと考えている。

教育行政 英語活動プランの内容は 体験してほしい英語活動例を示す

質問

①国際理解教育充実のための「英語活動プラン」の内容は。

②海外派遣団員の中から「英語力不足」の声があった。現在、英語指導助手一名で対応が十分か。

松尾教育長

①小学校段階では、「国際理解」教育の一環として楽しく英語に慣れ親しむ内容であることが大切である。しかし、小中連携の観点から、小学校段階

でもある程度共通の英語活動を体験することも必要であり、最低限どの小学校でも体験してほしい英語活動例を示したい。②英語指導助手は、生きた英語を学習し、英語力を高めるためであり、海外派遣団員のためではない。現在、各小学校には年間十二日間派遣しており、英語活動は、各学年で年間十数時間実施されており、一名で十分対応できると考えている。